

# 実施概要一覧

本プログラムは、以下の4自治体、6高等学校にて実施されました。それぞれ約20時間の起業家育成プログラムとなっています。



## 自治体開催 (開催日付順)

### 1 福岡県北九州市 (2018/7/21～9/15)

「やりたいことで突き抜ける!」というテーマのもと、北九州市とともに、地元の高校や高専生が参加したプログラム。地域で活躍する先輩や、地元の起業家がメンターとして参画し、身近な課題について自分たちが楽しいと思える解決方法で探りました。

### 3 宮城県仙台市 (2018/8/7～9/8)

東北の復興など社会起業(ソーシャルスタートアップ)をテーマとして、宮城県内の高校生を中心にプログラムを実施。地域の課題や社会課題など、生徒自らが問題意識を持つテーマを軸に、チームでフィールドワークなども行いながら、解決するビジネスを考案しました。

### 2 埼玉県所沢市 (2018/8/3～8/23)

所沢市の和ヶ原商店街の活性化をテーマに、地域の高校生を募ってプログラムを実施しました。生徒が実際に商店街を歩きながら課題を発見し、店主の方々と交流、自分たちが行きたくなる商店街にしていくビジネスを提案しました。

### 4 北海道夕張市 (2018/12/23～2019/1/14)

「夕張の未来づくりに向け、答えのない課題に立ち向かうプロジェクト」と題して、夕張市内外の高校生や大人を巻き込んだプログラムを実施しました。生徒が思い描く理想的な夕張をどうやって実現できるか、チームで取り組みました。

## 高等学校開催（開催日付順）

### 1 香川県立高松工芸高等学校（香川県） （2018/6/18～2019/2/7）

3年デザイン科の課題研究と起業家教育をコラボレーション。高松琴平電気鉄道の沿線活性化をテーマに、現地視察、仮説設定、解決するプロダクトのプロトタイプ制作、フィードバック、実地検証を行い、商店街活性化につなげるプランを考案しました。

### 3 金沢高等学校（石川県） （2018/8/7～8/19）

希望生徒を対象に生徒の身近な違和感を発見し、言語化していくプロセスをプログラムで実践。左利き、ダイエット、部活動など、生徒の日常にスポットを当てた課題解決のアイデアを探りました。

### 5 長野県小諸商業高等学校（長野県） （2018/9/25～2019/1/29）

1年生を対象に、一人ひとりが1つずつビジネスプランを考え、それらを掛け合わせ、ビジネスとして解決する方法を探りました。買い物の効率化、山での遭難対策、孤独死などがテーマとして取り上げられました。

### 2 福岡市立福岡女子高等学校（福岡県） （2018/7/10～11/12）

2年生の希望生徒を対象にプログラムを実施。生徒のキャリア選択の幅を広げるため、地元起業家やOG起業家、世界を目指す起業家を講師およびメンターに迎え、生徒が興味を持つ分野でどう課題解決していくかアドバイスをもらいました。

### 4 青森県立青森商業高等学校（青森県） （2018/9/10～11/22）

1年生を対象に、地域課題への関心を高め解決するビジネスを考案するプログラムを実施。冬場の観光客をどう呼び込むか、商店街をどう盛り上げるか、短命県にどう向き合うか、などを考えました。

### 6 京都府立須知高等学校（京都府） （2018/9/28～2019/1/24）

食品科学科3年生の課題研究と起業家教育事業をコラボレーションさせました。学校の魅力を伝えつつ、食品加工技術や公園管理等取り組みについて、ビジネスにつなげるプログラムをクラスで考案しました。

